

2015 年度 特許情報・調査セミナー

化学特許調査の基本と実践

特許公報の記載事項を把握した技術用語・特許分類のを見つけ方
テーマに即した適切な検索式の作成から検索結果の加工

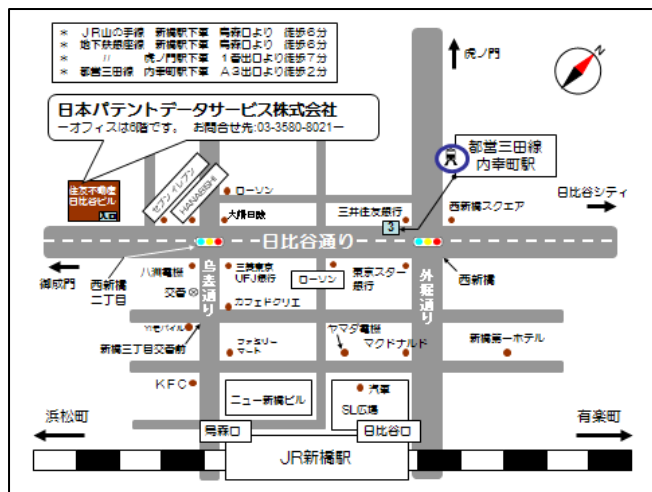
B
223

PC
実習

入門 ← レベル → 上級

化学分野における特許調査は、開発原材料からその原材料を利用した製品加工技術、電子部品等の用途に至るまで幅広くなっております。そのため、闇雲な特許調査のアプローチでは適切な調査結果を得ることがなかなかできません。

本セミナーは化学分野の特許情報検索を知り尽くしたベテラン講師が、研究者等からの特許調査依頼に対して調査担当者が一人で適切な検索ができるようになるプロセスとそのノウハウおよびデータの加工法をお伝えします。開発部門や知財部門調査担当者のスキルアップ講座としてご参加下さい。



講 師：平野 邦男

元 出光興産(株) 知的財産部

場 所：日本パテントデータサービス(株) セミナ室
東京都港区西新橋 2-8-6

住友不動産日比谷ビル 6 F

TEL:03(3580)8021 FAX:03(5512)7810

時 間：2日間コース（午前 10:00～午後 4:00）

受講料：30,000 円（税別）

定 員：24 名（先着順申し込み）

日 程：6 月 3 日（水）～4 日（木）

11 月 18 日（水）～19 日（木）

【申込方法】 F A Xまたはe メールでお受けいたします。FAX: 03(5512)7810 メール: chizai-semi@jpds.co.jp
（受講票をメールまたはFAXにてお送り致します。5営業日以内に届かない節はご一報ください。）

【キャンセル】セミナー開催日前10日以降にキャンセルされた場合には、受講料を請求させていただきます。
但し、講師の都合などで急遽開催が見送られた場合には受領済みの受講料を返却させていただきます。

お申込日 年 月 日

「化学特許調査の基本と実践」申込書

日本パテントデータサービス株式会社 知財研修部 行（FAX: 03-5512-7810）

会社名				部課名		
住 所	〒					
TEL				FAX		
参加希望日： ☐ 6月3日～4日 ☐ 11月18日～19日						
受講者氏名			所属			特許調査経験 ☐ 有(年) ☐ 無
E-mail					弁理士番号	
受講者氏名			所属			特許調査経験 ☐ 有(年) ☐ 無
E-mail					弁理士番号	
支払方法	☐ 単独請求書・銀行振込 ☐ 当日現金 ☐ 合算請求(お取引コード:)					
備考： ※弁理士の方は弁理士(登録)番号をご記載ください。(本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。)						

セミナースケジュール（化学特許調査の基本と実践）

1 日目	
午前 10 : 00	講師ご紹介
10 : 05	1. 検索の基本
11 : 20	1. 1 特許公報の特徴 1. 2 適切な検索（キーワードと特許分類（F I、F ターム）） 2. 検索実習 ～アクリル酸に関する製法、反応、触媒からの検討～ 2. 1 プロピレンの酸化によるアクリル酸の製法
11 : 45	昼休憩 2. 2 アクロレインの酸化によるアクリル酸の製法
12 : 45	2. 3 プロピレンの酸化によるアクロレインの製法
14 : 35	休憩
14 : 45	2. 4 アクロレイン、アクリル酸製造用モリブデン酸化触媒
	質疑・応答
16 : 00	終了

2 日目	
午前 10 : 00	ご挨拶
10 : 05	1. 適切な検索 2（検索担当者として必要なもの）
11 : 00	2. 検索実習 ～樹脂組成物及び樹脂の用途を検討～ 2. 1 導電性アクリル系フィルムを用いたタッチパネル
11 : 45	昼休憩
12 : 45	2. 2 ポリアミド系芯鞘型繊維を用いた不織布
14 : 20	休憩
14 : 30	2. 3 ABS樹脂とガラス繊維を含有したポリカーボネート樹脂組成物（F タームの活用） 3. エクセルを用いた検索結果の加工法
	質疑・応答
16 : 00	終了

【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。可能な限りお答えさせていただきます。
- ・ データベースは「JP-NET」を各人1台のパソコンを使用しての検索実習を予定しております。